

次期八戸市総合計画策定 市民ワークショップ 【結果報告書】

ワークショップ

概要

<第1回>

開催日：令和7年12月13日(土)14時～15時30分

開催場所：マチニワ

参加人数：23人(社会人)

ファシリテーター：山本 耕一郎 氏(アーティスト)

<第2回>

開催日：令和7年12月20日(土)14時～16時

開催場所：美術館(ジャイアントルーム)

参加人数：54人

- ・20人(高校生)

- ・25人(大学生)

- ・9人(社会人)

ファシリテーター：藤 加奈子 氏(ウェブディレクター)

小田桐 咲 氏(まちづくり関係者)

テーマ

①八戸市について

【第1回目:イメージ】

【第2回目:よいところ、もったいないところ】

②八戸市と言えば(八戸市の資源)

③10年後になっていてほしい八戸市

ワークショップ

概要

<第1回>

開催日：令和7年12月13日(土)14時～15時30分

開催場所：マチニワ

参加人数：23人(社会人)

ファシリテーター：山本 耕一郎 氏(アーティスト)

<第2回>

開催日：令和7年12月20日(土)14時～16時

開催場所：美術館(ジャイアントルーム)

参加人数：54人

・20人(高校生)

・25人(大学生)

・9人(社会人)

ファシリテーター：藤 加奈子 氏(ウェブディレクター)

小田桐 咲 氏(まちづくり関係者)

① 八戸市について

② 八戸市と言えば(八戸市の資源)

①プラスイメージ

- ・資源が揃ったポテンシャルの高いまちなイメージ
- ・陸海空の交通インフラが整っているイメージ
- ・おいしい食べ物が手頃な値段で手に入るイメージ
- ・年齢を重ねると住みやすいイメージ
(若いうちは中々味がわからないかも)
- ・大人のまちなイメージ
- ・子ども達が安心して過ごせるイメージ
- ・観光をお勧めしやすいイメージ
- ・都会と田舎の間のちょうど良いイメージ
- ・優しい人が多いイメージ
- ・自分で解決する人が多いイメージ

①マイナスイメージ

- ・中心街の歩道が狭いイメージ
- ・中心街に人が少ないイメージ
- ・若者の遊べる場所が少ないイメージ
- ・仕事の利便性が悪いイメージ
- ・高校生が中心街に来る機会が少ないイメージ

②八戸市と言えば(八戸市の資源)

- ・陸・海・空の交通結節点であること
- ・横丁(こどもと歩ける横丁は中々ない)があること
- ・大学があること
- ・いろいろなスポーツチームがあること
- ・個人経営のお店が魅力的
- ・春夏秋冬で祭りがあること(三社大祭、えんぶり)
- ・食べ物、水、酒がおいしいこと

③ 10年後になってほしい八戸市

【誇り・魅力】

- ・一度出ていく事があっても、戻って来たいと思えるまち
- ・住んでいる人が誇れるまち
- ・まちづくりが自分ごとになるまち
- ・八戸らしさと住みやすさの両立されたまち
- ・朝市と夜のエネルギーが昼にも発揮され、中高生にも実感してもらえるまち
- ・立ち寄れる街、立ち寄りたくなるまち
- ・関わりしろの多いまち
- ・自分のやりたいことが楽しめるまち
- ・八戸出身者がもっと応援したくなるようなまち

【にぎわい・交流】

- ・子どもも若い人もシニアも元気なまち
- ・高校生～高齢者まで多世代で長い時間過ごせ、交流できるまち
- ・中心街の他に盛り上がり、活気のある地区が生まれてほしい
- ・小学生から高校生まで集まれる地域のコミュニティスペースが出来ると良い
- ・みんなで盛り上げられるまち
- ・若い世代が集える場所、若い世代をみんなで育てる場所

【スポーツ・文化】

- ・サッカー場、スケート場、体育館等がまとまった総合運動公園が出来てほしい
- ・ヴァンラーレ八戸がJ1で鹿島と優勝争いをしている
- ・フィギュアスケートの国際大会が開かれている
- ・YSアリーナの隣にカーリングの施設を建設
- ・祭りを続けていたい、子どもと一緒に三社大祭を楽しみたい

【安心・安全】

- ・防災に強い、安心安全な八戸(授業で必ず習い、若い人たちが防災マイスターを取得)

【共助】

- ・町内会を見直し、地域の行事を大学生が支援
- ・しょうゆの貸し借りなどができる、ご近所づきあいがあるまち
- ・新しい形の町内会を作る

【子育て・教育】

- ・子育てしやすい、親子で遊べるまち
- ・南部タウン跡地に大学を作る
- ・学校(高校)の選択肢が増えてほしい

③ 10年後になってほしい八戸市

【しごと】

- ・工業の振興(若い人が働いてみたい世界トップクラスの技術の振興)
- ・儲けを出せるサブカルチャーコンテンツ制作
- ・外貨を獲得できる産業を増やす
- ・若い人が起業できるような仕組み(補助、アドバイス等)のあるまち
- ・大きい企業や工場を誘致
- ・人口が2~3割増加(UIJターンのハイブリットワーカーをターゲットに)
- ・農福連携が日本で一番進んでいるまち

【その他】

- ・まちの歴史や文化を若い人や外から来た人にきちんと伝えられるまち
- ・住むことにお金が掛からないまち
- ・政治やまちづくりに興味のある人を増やす
- ・八戸市総合計画を皆で読むワークショップの開催
- ・選挙の投票率が2倍になっている
- ・強制的に八戸を思い出させる何かがあると良い
- ・工場夜景を見れるオシャレな場所(ウォーターフロントに)

【都市基盤】

- ・コンパクトシティ(車が無くても行きたいところに行ける)
- ・駅から街へのメインストリートの整備(雨風がしのげて、少し休める所)

【公共交通】

- ・自家用車が無くても生きていけるまち
- ・自動運転バスで交通が充実したまち
- ・公共交通機関が充実しているまち
- ・車いすでも飲みに行けるまち
- ・快適に待てるバスの停留所が出来てほしい
- ・貸自転車が充実したまち
- ・どこに住んでいても自力で通学できるまち

【公共施設・商業施設】

- ・県立の施設を誘致
- ・ラウンド1やパルコなど若者が遊べる施設を誘致
- ・ランドマークとなる建物を建設
- ・市役所に「なんでも相談室」を設置

ワークショップ

概要

<第1回>

開催日：令和7年12月13日(土)14時～15時30分

開催場所：マチニワ

参加人数：23人(社会人)

ファシリテーター：山本 耕一郎 氏(アーティスト)

<第2回>

開催日：令和7年12月20日(土)14時～16時

開催場所：美術館(ジャイアントルーム)

参加人数：54人

- ・20人(高校生)

- ・25人(大学生)

- ・9人(社会人)

ファシリテーター：藤 加奈子 氏(ウェブディレクター)

小田桐 咲 氏(まちづくり関係者)

① 八戸市について

② 八戸市と言えば(八戸市の資源)

①よいところ

- ・食べ物や魚がおいしいところ
 - ・海や自然がきれいなところ
 - ・人が優しいところ
 - ・田舎過ぎず都会過ぎずバランスがいいところ
 - ・三社大祭やえんぶりがあるところ
 - ・雪が少ない(あまり降らない)ところ
 - ・新幹線が通っているところ
 - ・飲み屋が多いところ
- など

①もったいないところ

- ・遊びに行くところが少ないところ
 - ・映画館がないところ
 - ・公共交通が不便なところ
 - ・中心街に活気が少ないところ
 - ・道路が狭い・ガタガタなところ
 - ・空き家が多いところ
 - ・情報発信が弱いところ
 - ・若者が外に出てしまう、帰ってこないところ
- など

②八戸市と言えば (八戸市の資源)

- ・おいしい食べ物
 - ・水産物
 - ・せんべい汁、朝市
 - ・三社大祭、えんぶり
 - ・豊かな自然
 - ・きれいな海や種差海岸
 - ・人間性(あたたかい、優しい)
- など

③ 10年後になっていてほしい八戸市 【テーマ:遊ぶ・楽しむ】

高校生		大学生	
八戸市民が町を盛り上げ、市長が本気を出す町		ふところが潤っている街	
どんな人がどんな風に過ごしている？			
・市民や観光客がにぎわっている／楽しんでいる ・大人、こどもがともに楽しめるまちになっている ・学生がおしゃべりしながら楽しそうに勉強している ・音楽フェスやライブを楽しんでいる ・カフェでゆったりしている ・市の良いところを認識できている ・行きたいところに行ける交通機関が整っている ・商業施設の充実(ショッピングモール、駅) ・自然を満喫できる など		・多様な世代が人が中心街を歩いている(飲み歩き、食べ歩き、遊び歩き、ショッピングができています) ・学生が地元就職を視野に入れている ・市民の懐が潤っている など	
その未来に必要な資源やアイデアは？			
資源	アイデア	資源	アイデア
・勉強やレンタルスペース、 ・話せる空間 ・ロフト、ライブ会場 ・若者が求める服屋 ・人 など	・市の伝統工芸や農業祭に他県の人に参加 ・三社大祭の更なる盛り上げ ・若者が協力して行事をつくり上げる ・趣味で集まれるイベントの開催 ・人材の招聘 ・市長が本気出す ・八戸のアーティストの売り出し など	・映画館、ラウンドワン ・働きたいと思える環境(企業、給料) など	・ライブやイベントの開催 ・ヴァンラーレ八戸の強化 ・YSアリーナの活用 ・図書館新設 ・クラウドファンディング ・市の財政強化 ・市のPR、観光客の増加 など

③ 10年後になってほしい八戸市 【テーマ:働く・学ぶ】

高校生		大学生	
好きなことを好きなだけ学べる八戸		労働環境・学校環境の調った街	
どんな人がどんな風に過ごしている？			
・就職先が気軽に見つかる ・ワークライフバランスがしっかりしている ・自分の学びたいことを楽しく学べている ・友人とマチニワで勉強している ・学生が気軽に放課後に暇つぶししている ・市の良さに気づけている ・大人とこどもが対話によって相互理解できている ・若者が昼夜問わず中心街でにぎやかに遊んでいる		・社会人が楽しく働いている ・学生が自由に勉強できる ・誰でも学びたいときに学べる など	
その未来に必要な資源やアイデアは？			
資源	アイデア	資源	アイデア
	・市、金融機関による起業への資金援助 ・インターンシップの機会増加 ・就職の契機となるイベントの開催 ・イベントの周知・工夫	・安心して働ける環境 ・バイト、職業の選択肢の豊富さ ・学生が学べる環境、大学 ・コワーキングスペース など	・労働基準の遵守、遵守企業へのインセンティブ、労働環境の公開 ・交通機関の整備 ・校舎の新設 など

③ 10年後になってほしい八戸市 【テーマ:暮らす】

高校生		大学生		社会人	
市の多様なコミュニティで自分の理想が叶えられる街		人同士の交流がさかんな街		いろんな居場所で安心して繋がる	
どんな人がどんな風に過ごしている？					
・住みやすく、子育てしやすいまち ・娯楽施設が多く、遊べる場所がある ・地域の人絆で結ばれている ・若者が定着、挑戦・発信ができています ・自然が守られ、大自然の中でスポーツに熱中している ・学生が八戸に残り楽しく過ごしている ・多様な世代で多様な個性を認め合っている など		・世代問わず盛んに交流している ・誰もが中心街を歩いて楽しんでいる（若者が多くいる） ・公共交通に行きたい場所に行きたい時間で行けている ・駅が通過点ではなく、集まる場所になっている ・観光客が再訪したいと思えるまちになっている など		・多文化交流や地域の相互扶助がある ・困り事が気軽に話せる場所がある ・毎週楽しいイベントがあり、イベント創出を皆で応援している ・仕事とお金に充実した生活ができている ・八戸市でも市外の仕事をこなしている ・仕事も趣味も全力に生きている ・海外から移住先に選ばれている など	
その未来に必要な資源やアイデアは？					
資源	アイデア	資源	アイデア	資源	アイデア
・飲食持ち込み可能なフリースペースや勉強施設 など	・自分を発信、発表できる場所づくり ・交流拠点施設の整備（空き家の利活用） ・賞金付全世代混合企画 ・交通機関無償化（学生） ・移住や挑戦への支援金 ・全店舗を網羅した情報誌 ・情報交換会（起業・趣味） ・八戸版国スポ など	・駅に目的なく居られる場所 ・人が集まるハコ ・綺麗な道路 など	・幅広い世代向けのイベントを開催しYouTube、TikTok、有名人による告知をする ・クラウドファンディング ・特産品の返礼を行う ・買った物をその場で調理 ・交通網の整備、小型バスの導入、ラッピングバス ・通学路にわくわくするようなデザイン など	・観光資源	・地域交流へのデジタル活用 ・誰でも相談窓口の設置 ・助け合いウェルカムな仕組みづくり ・観光資源と地元を繋ぐ取組 ・アイデアマンを市内に満たす ・わかりやすい情報を地域に広げる仕組みづくり ・新規ビジネスの支援に対する取組を行う など

12

③ 10年後になっていてほしい八戸市 【テーマ:食べる】

高校生		大学生		社会人	
食を通じてコミュニケーションをとれる町		SNSを活用して市長に協力してもらい八戸の海産物を全国へ		地元の食べ物で人がつながり、経済が循環する元気なまち	
どんな人がどんな風に過ごしている？					
・今より漁業・農業が盛んになっている ・食べて雑談できる場所がある ・八戸の食に興味を持った人が過ごしている(外からも来ている) ・郷土料理の飲食店が増えている ・県外でも八戸の魚が食べられている ・こどもが給食を食べている ・こどもが行きやすい飲食店がある ・こども食堂がある など		・郷土料理や地産地消の飲食店が増えている ・食べ物が全国ブランドになっている ・国民が八戸と言えば〇〇と答えられる食材がある ・休日夜には夜市が開かれ、朝市の規模が拡大している ・個人経営の店がもっとにぎわっている ・公共交通が増便されている ・ラーメンストリートができています など		・市外から気軽に人が訪れている ・地元でおいしいものをたくさん食べて過ごしている(地産地消) ・名物(せんべい汁、魚)が存在している ・世界に八戸の食が発信され、県外で八戸産の食材が提供されている ・食べ物が安定供給されている ・伝統料理が一般的に食べられている ・横丁や朝市がにぎわっている ・こどもが農業・水産体験できている ・生産現場でAIが活用されている など	
その未来に必要な資源やアイデアは？					
資源	アイデア	資源	アイデア	資源	アイデア
・マチニワのような施設 ・飲食できる公園 など	・空き家を活用 ・最新の技術で生産量を増やす ・芸能人が地域の魅力を発信する ・新幹線や船で輸送 ・八戸料理の本を沢山出す ・公共交通の本数増便 ・場所の貸し出し(市管理) など	・大きい駐車場 ・みろく横丁(八戸の食材を使った料理を出すため) など	・さらなるSNSやAIの活用 ・市長が協力的になる ・水産業やUIターン、ふるさと納税の返礼品の強化 ・給食等でも郷土料理の増加 ・さらなる集客のため電子決済対応個人経営店の増加 ・グルメサイト(市HPの掲載) ・役所から朝市までのシャトルバス、港や畑の拡大 など	・技術、人、金 ・給食や食堂(地元食材の提供地) ・こども ・市民の健康 など	・養殖技術の研究や生産現場にテクノロジー導入 ・産業界横連携(民間ベース) ・新規参入の窓口設置 ・マッチングコーディネーター ・郷土料理教室の開催 ・情報収集用プラットフォーム ・基金で資金調達 ・多世代交流型の調理体験・農業体験 など

③ 10年後になっていてほしい八戸市 【テーマ:スポーツ】

高校生		大学生	
プロスポーツチームを軸に世代関係なく健康的に盛り上がる街		世界とともに盛り上げる	
どんな人がどんな風に過ごしている？			
・世代関係なく勝敗を気にせずスポーツに関わっている ・市民が地元スポーツチームの勝利で盛り上がっている ・スポーツが苦手な人でも気軽にスポーツできている ・一緒にスポーツができるコミュニティがある ・気軽に運動できる環境があり、休日には運動できている ・各地域で運動会が開かれている ・健康的になり、強くなって自信をつけている ・スポーツをきっかけになり、明るくなっている など		・様々なスポーツの種類があり、あらゆる人が楽しめている ・スポーツ観戦者が市内で大きな試合を見ている ・市のスポーツチームを市民が応援している ・学生が部活動でスポーツをしている ・多世代で好きなスポーツを全力でやっている ・アイスホッケー好きがスケートリンクでハードなプレイを楽しめている	
その未来に必要な資源やアイデアは？			
資源	アイデア	資源	アイデア
・新しいスタジアム ・大人も短時間で気軽に行けるジム ・サークル ・スポーツ総合公園 ・外に卓球台 など	・新スタジアム建設に市長が意欲的になる ・まちで体を動かすイベント開催 ・夜も集客できるこどもの国の使い方 ・学校の体育館を気軽に使えるようにする ・税金の使い方を見直し、各地域に体育館などの施設を建設 など	・人、金 ・ファンクラブ ・部活 ・クラブチーム など	・クラブチームを増やす ・SNS、広告、テレビ、新聞で発信 ・芸能人、プロ、インフルエンサーの招聘 ・クラウドファンディング ・スポーツに関するワークショップ(全年齢)の開催 ・出店や参加型イベントの開催 ・サポーターやファンクラブの移動手段の確保 ・市や企業のサポート など

③ 10年後になっていてほしい八戸市 【テーマ:文化・歴史】

高校生		大学生	
伝統と最新技術が融合した街		観光客が歴史や文化を全身で体験できる八戸	
どんな人がどんな風に過ごしている？			
・市民が積極的に祭りに参加し、学生が屋台に並んでいる ・たくさんのイベントが開催され、多世代で楽しめている ・学校で文化財を見学する機会や郷土芸能を学ぶ機会が確保されている ・八幡馬がつくられている ・こどもが山車制作に携わり、山車をひいている ・外国人が訪れ、楽しまれている		・市内外の人がまちの歴史を知っている ・こどもが町の文化・歴史を自然と学んでいる ・活気のある祭りが開催されている ・観光客と地元の店が活気良く交流している ・観光業で稼げる人が増えている ・観光客が芸術に参加できている ・観光都市八戸として地位が確立されている など	
その未来に必要な資源やアイデアは？			
資源	アイデア	資源	アイデア
・三社大祭 ・文化財 ・地元工芸品	・三社大祭の山車をテーマにしたアニメ制作 ・祭り参加者に景品 ・祭りにドローン導入 ・プロジェクションマッピングの導入 ・VRで祭りに参加 ・高齢者がこどもに文化財を教える取組 ・練習場所を増やす	・観光地 ・文化財 ・地元工芸品	・地元工芸品の製作体験 ・公共交通の充実 ・タクシーとのコラボキャンペーン ・新商品開発(ボードゲーム) ・飲食店でそのグルメが生まれた背景・歴史が知れる取組 ・観光ツアーの開催 ・観光マップの普及 ・観光ルートの構築 ・文化財所有者による紹介パンフレットの作成